

運輸安全マネジメント

一人ひとりが基本品質方針をよく理解し、
高品質の物流サービスを荷主企業に提供し続けることを目指す

セッツエクスプレス株式会社

代表者名 櫛原 日出男

期間：2025 年 5 月 1 日～2026 年 4 月 30 日

運輸安全に関する基本方針

セッツエキスプレス株式会社の社長は、輸送の安全確保が経営の根幹をなすものであり、事業を営む上で最も優先すべきものであることを深く認識し、交通事故撲滅を目指し、従業員とその家族、周辺社会に対して安全で安心な輸送を推進してまいります。

また、その旨を社内へ掲示する事で従業員への周知徹底を行い、常に主導的な立場で輸送の安全を確保するため積極的に取り組んでいきます。

方針内容

- 1：輸送業務における安全の徹底を図り、顧客が満足するサービスを提供する
- 2：交通事故防止活動の推進、法令順守の徹底を行う
- 3：物流の社会的責任を認識し、安全管理を徹底する

安全確保に関する取り組み宣言

経営者は、輸送の安全確保に関し最終的な責任を有すると共に、安全確保に関する設備設置・教育訓練を積極的に推進する。

社内への周知方法

- 1：社内掲示板にて周知
- 2：自社ホームページにて周知

安全方針に基づく目標

< スローガン >

基本を徹底し、無事故で安全運転。

< 最重点目標 >

人身事故件数 0（ゼロ）件

< その他数値目標 >

1：労働災害事故件数 0（ゼロ）件

2：物損交通事故件数 0（ゼロ）件

3：貨物積荷事故件数 0（ゼロ）件

4：自動車事故報告規則第2条に規定する事故の統計 0（ゼロ）件

運輸安全目標達成のための計画

< インフラ整備 >

1：車輛安全装備推進

（デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー・バックアイカメラを車輛に導入）

2：乗務員休憩室・乗務員利用施設の整備、充実

< 従業員教育 >

1：継続的な乗務員指導・安全教育の実施

（近畿交通共済協同組合 e-learning を活用、乗務員が空き時間にスマホで実施）

2：管理者の外部教育研修への積極的参加

3：新人・事故惹起者への重点教育

4：管理者の現場巡回による指導教育の強化

5：「運転者適性診断」の受診（近畿交通共済協同組合 アクセスチェッカーミニを活用）

安全に関する情報交換方法

1：定期的に社長・役員・管理者との報告会を実施

2：管理者と運転者によるコミュニケーションの場をつくり、適宜に面談

安全に関する反省事項

年度末に社内チェックを実施する。
問題点等の結果は後日、社内に掲示する

反省事項に対する改善方法

社内チェックにより把握した問題点について必要な見直し・改善を行い、後日社内に掲示する

安全に関する目標達成状況

本取り組み期間終了後、集計の後、公表する

昨年の運輸安全マネジメント結果

期間：2024 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日

安全方針に基づく目標

< 最重点目標 >

人身事故件数 目標：0（ゼロ）件 / 【 実績：0 件 】

< その他数値目標 >

1：労働災害事故件数 目標：0（ゼロ）件 / 【 実績：0 件 】

2：物損交通事故件数 目標：0（ゼロ）件 / 【 実績：4 件 】

3：貨物積荷事故件数 目標：0（ゼロ）件 / 【 実績：0 件 】

4：自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故の統計
 目標：0（ゼロ）件 / 【 実績：0 件 】

運輸安全目標達成のための計画

< インフラ整備 >

1：車輛安全装備推進

（デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー・バックアイカメラを車輛に導入）

【 実績：各種装備の装着率は、2025 年 4 月末現在にて 100%を維持できた 】

2：乗務員休憩室・乗務員利用施設の整備、充実

【 実績：休憩室の整理整頓、健康促進機器を維持、利用促進 】

< 従業員教育 >

1：継続的な乗務員指導・安全教育の実施

【 実績：年 1 回実施 】

2：管理者の外部教育研修への積極的参加

【 実績：年 2 回以上の受講を実施 】

3：新人・事故惹起者への重点教育

【 実績：社内・外部研修を実施 】

4：管理者の現場巡回による指導教育の強化

【 実績：定期的に実施し、問題点を改善 】

5：「運転者適性診断」の受診（近畿交通共済協同組合 アクセステックカーミニを活用）

【 実績：計画的に年 1 回実施 】

安全に関する情報交換方法

1：定期的に社長・役員・管理者との報告会を実施

【 実績：年1回実施 】

2：管理者と運転者によるコミュニケーションの場をつくり、適宜に面談

【 実績：管理者が現場に趣き、適宜実施 】